

研究実施のお知らせ

2023 年 10 月 11 日 ver.1.0

研究課題名

眼科手術患者の全身治療薬調査

研究の対象となる方

島根大学医学部附属病院で 2018 年 4 月から 2023 年 12 月の間に、緑内障手術または白内障手術を受けられた方

研究の目的・意義

緑内障や白内障といった眼疾患は加齢とともに発症進行するため、高血圧や糖尿病などの全身疾患をしばしば合併します。一方で、眼疾患を有する患者の全身併存疾患や使用している全身薬に関する系統的な調査はほとんどおこなわれていません。白内障や緑内障に全身疾患が関与する可能性があります。眼疾患毎にその影響は異なります。入院手術を受けられた患者さんでは、入院時に、薬剤師による薬剤チェックが行われているため、本データを利用することで全身治療薬の把握が可能です。

本研究では、当院で緑内障および白内障手術を受けられた患者さんについて、入院時の全身治療薬および併存疾患を調査します。全身治療薬の使用頻度を、眼疾患間で比較することで全身疾患及び全身治療薬の眼疾患への影響を検討します。

本研究によりこれまで系統的に調査されていなかった眼疾患患者における全身治療薬の使用頻度が明らかとなります。眼科疾患の間で全身治療薬の使用頻度の差が明らかになることで、全身疾患や全身治療薬の眼疾患への影響が明らかとなれば、眼疾患の病態理解や眼科疾患管理の高精度化に寄与できます。

研究の方法

対象となる患者さんの電子カルテから年齢、性、左右眼、術前の視力・眼圧・使用している眼科および全身薬剤、併存疾患、身長、体重、血圧、脈拍、全身術前検査結果、高齢者機能評価スコア、加齢マーカー、視野・屈折度数・炎症の程度、出血の程度、乱視度数、コントラスト感度、水晶体の状態・角膜の状態、瞼の状態、SU-PAP グレード、合併症、追加処置・手術を調査します。データはエクセルのデータシートに記載して集計します。全てのデータは氏名、カルテIDを削除して扱います。収集したデータは、島根大学医学部眼科学講座内の外部から容易にアクセスできない PC に保管します。PC にはセキュリティを設定し、パスワードで利用可能な研究者を制限します。研究に関するデータ及び関連資料（研究に関する手続き資料を含む）は、

研究結果の最終報告を行ってから 10 年間保管し、その後保管の必要性がなくなった時点で研究対象者の識別が不可能な状態で廃棄（消去）します。

本研究に関与する研究者の利益相反は所属研究機関内の規程に従い管理します。

研究の期間

2023 年 11 月（研究許可後）～2029 年 12 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や雑誌などで公表します。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部附属病院眼科 教授・谷戸正樹

実施研究機関

[機関]

[研究責任者]

島根大学医学部附属病院眼科（研究機関の長：石原俊治） 教授・谷戸正樹

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

利用停止のお申し出は、いつでも可能です。ただし、結果の公表の直前や公表を行った後は、情報を削除することができず、ご要望に沿えません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座・教授 谷戸正樹

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284